

平成 29 年度 大阪府立河南高等学校 第 2 回学校協議会 報告

〔 日 時 平成 29 年 10 月 19 日 (水) 15:00～
場 所 本校校長室 〕

協議会委員

吉川 測雄 (杉田学園副学園長・大阪学院大学講師)
島 善信 (大阪教育大学教職教育研究センター 特任教授)
谷口 省三 (富田林市立第二中学校 校長)
岡澤 潤次 (前 関西外国語大学 教授)
恵島 明 (株式会社「えじま」会長)
中桐 富子 (PTA 会長)

事務局教職員

仲内 一雄 (教頭) 寺田 由香 (事務長) 横山 博次 (首席) 東 文義 (首席)

1 校長挨拶

2 学校運営協議会の設置について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正、施行され、来年度より本組織は学校運営協議会となります。これに伴い、来年度より学校経営計画について、本協議会の承認が必要となります。

3 議事

(1)現状報告と(2)質疑応答並びに学校への提言 (◎印：委員、○印：学校)

① 平成 30 年度使用教科書採択について (仲内教頭)

○使用教科用図書選定理由書、各教科における教科書選定の過程、使用教科書一覧表について報告・説明。

◎了承いたします。

② 授業アンケート (第 1 回) について (仲内教頭)

○6月下旬にアンケートを実施。昨年と比べて、評価が低い教員の人数が大きく減少した。アンケートについては様々な意見や考え方もあるが、授業改善に向けて参考にしてほしい。

◎アンケートをもとに授業改善の成果が現れているのはすばらしい。今後もより良い授業を目指して、教員とともに頑張ってください。

○今後、入試制度の改革に伴って、各教科記述等への対応・対策が必要。指導法についても進学を見据えて検討していく必要がある。

③ スタディーサポート結果概要、高校生活と健康意識調査 (仲内教頭)

○経年変化でみると、生徒の学力は少しずつではあるが上がっている。

○1年生の第2回から、家庭学習時間が減少する。3年では平日で2時間程度確保をする生徒が多いが、1・2年は家庭学習時間が1時間以下の生徒が多い。

○家庭学習時間の減少とともに宿題をこなせない生徒も増えている。また、悩みとして勉強についていけないという生徒も多い。

◎経済的に厳しい家庭も多く、公立高校の人気は高いです。生徒に学力をはじめとしたしっかりとした力が身につくような取り組みを、今後も継続されることを願います。

④ 学校説明会一覧 (横山首席)

○7月9日に行いました進学説明会から始まり、進学相談会、クラブ体験、授業体験会など19回実施。

◎来週末にあります学校説明会は時期的にも生徒の関心も高いです。ここで、しっかり学校の良さをアピールすることが重要です。

⑤ 河南フェスティバルを終えて (生活指導部・特活係主担 新鞍教諭)

○模擬店等で使用する食券方式を金券方式に変更し、食堂でも使用できるようにした。今後、模擬店以外の企画にも使用できるように検討を行う。

○全体的に企画がマンネリ化してきており、内容について改革をしていきたい。

⑥ 自治会役員との懇談 (自治会執行部)

○学年行事等で他学年とかかわれる機会が少ない。体育大会を縦割りにして、学年間のつながりができるようにしていきたい。

◎体育大会を縦割りにしている学校は多い。学年をまたいで団運営をすることにより良い効果が期待できる。運営方法について他校に聞いてもいいのではないか。

◎河南高校の特色ある学校行事が、さらに発展することを期待しています。

4 校長謝辞